

表紙の写真



おおぞら認定こども園の園児が宇良関・美ノ海関と交流会

にお相撲さんがやってきた！大興奮の交流



1月6日、おおぞら認定こども園に、東京都の相撲部屋・木瀬部屋から幕内力士2人が訪れました。昨年3月に民営化された同園の移管先である社会福祉法人春献美会が運営する保育施設では、毎年、園児と同部屋の力士との交流が行われています。

初めてとなる力士との対面を心待ちにしていた園児たちの前に現れたのは、人気力士の宇良関と美ノ海関。間近で見のお相撲さんに大興奮の園児たちは、餅つきや綱引きなどを一緒に楽しみ、笑顔あふれる交流の時間を過ごしました。最後は園児から手作りのプレゼントを手渡し、感謝の気持ちを伝えました。

1挨拶する宇良関と笑顔の美ノ海関 2みんなで餅つきを体験 3お相撲さんと相撲で勝負！ 4全員で力を合わせて綱引き勝負！ 5感謝をこめて、手作りのプレゼントを渡す園児



河城小に元アーチェリー日本代表来校 本代表から学ぶ心

1月19日、県内出身で元アーチェリー日本代表の小川哲生さんてつせいによる講演会が河城小学校5年生を対象に開催されました。小川さんは、身体障がいの発覚を機に競技を始めた自身の経験をもとに、児童たちへチャレンジすることの大切さを伝えました。また障がいのある人とサポートをする人の体験も行われ、児童は声掛けや支え合いの重要性を学びました。最後にはアーチェリー体験も行われ、楽しみながらスポーツの楽しさや挑戦することの大切さを実感していました。



1体験から寄り添う姿勢を学ぶ 2アーチェリー初体験



スポーツ少年団交流会 スポーツで広がる交流の輪

1月17日、市民総合体育館で「令和7年度菊川市スポーツ少年団交流会」が開催されました。種目の異なる市内のスポーツ少年団が集まり、スポーツを通して団員同士の友情と親睦を深めることを目的に、毎年行われている恒例行事。今年には10団体から小学4年生以上の団員102人が参加。ペタボード、長縄跳び、関所破りの3種目を通じて交流を深めました。初めは緊張していた子どもたちも、次第に打ち解け、笑顔あふれる交流の時間となりました。



1息を合わせて長縄跳び 2ペタボードで勝負